

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区音楽のまち推進事業（花コンサート）		
事業所管課	高津区役所地域振興課			担当者	涌 祐喜	連絡先	044-861-3134
関係局（局区連携事業は記載）							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<p>【音楽事業共通】</p> <p>音楽を通して区民にゆとりとやすさを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。</p>
事業概要	<p>【音楽事業共通】区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力があふれ、愛着が持てるまちづくりを推進することを目的とし、区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】子どもたちが本物の音楽文化に触れる機会を提供すること。また、これにより音楽文化を生み出す心をはくむことを目的に次の事業を実施する。(1)身近な場所での音楽隊種（こども文化センター等へプロを派遣）、(2)家族単位での音楽鑑賞体験（洗足学園音楽大学等で開催される公演への無料招待）、(3)ホールでの音楽鑑賞体験（オペラ公演の開催）(4)演奏体験ワークショップ（参加者を公募して楽器演奏を指導、区民音楽祭で成果を発表する）</p>

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,022,511	決算額	908,060	不用額	114,451
不用の理由	印刷費の節減等による事業委託料の戻入による				
事業目標	【音楽事業共通】各事業の集客数を維持向上させること及び来場者アンケートの結果「満足できた」という意見を8割以上得ることを目標とする。参加型音楽イベントの場合は、新たな音楽家や音楽グループの参加が得られることを目標とする。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	プロの音楽家によるコンサートを、昼休みの時間帯（12:00～12:40）に開催する。知名度の高い楽曲を演奏することにより親しみやすいコンサートとする。出演者に関しては、一般公募により募集し、運営委員会で選考するものと、運営委員会からの推薦によるものを併用する。また、平日の花コンサートに来ることのできない区民に対しても音楽の提供の機会を設けるため、年1回「大きな花コンサート」を開催する。年2組程度。				
事業目標を達成する上での課題等	<p>【音楽事業共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各種コンサートの内容や広報手段を適宜見直ししながら実施していく必要がある。</li> <li>●地域振興課と生涯学習支援課で行っている事業を中心に、一部民間で行っている事業も含め体系化を図り、より効率的で効果的な事業展開を図っていく必要がある。</li> <li>●入場料収入（受益者負担）を導入するにあたり、地方自治法により収納事務を委託することができず職員が徴収しなければならないが、夜間や休日の対応も求められるため、人件費等のコストを考慮すると費用対効果が低い。実施手法の早急な整備が求められている。</li> <li>●地域団体主催などの行政が主催・共催・後援をしていない音楽イベントの情報発信や、各団体・イベントの連携などに対する支援を行なうことが求められている。</li> </ul>				
実績	<p>委託先：花コンサート運営委員会</p> <p>【花コンサート】区役所ロビー 12:00～12:40</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●5/28(火) 180名 ●7/23(火) 180名 ●8/27(火) 160名 ●9/24(火) 160名 ●11/26(火) 170名 ●12/17(火) 170名</li> <li>●1/28(火) 210名 ●2/25(火) 200名</li> </ul> <p>【150回記念花コンサート】区役所ロビー 14:00～15:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●6/30(日) 300名</li> </ul> <p>【大きな花コンサート】高津市民館大ホール 14:00～15:45</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●10/27(日) 530名</li> </ul>				
協働の視点	企画・運営を区民で構成される運営委員会に委託し、協働により実施している。協働の資料を配布するなどして再確認しながら、役割分担の見直し等を行ったことで、休みが急遽出るような不測の事態にも全員が積極的に他の分担を遂行することができるようになってきている。				
環境配慮への視点	再生紙や裏紙を使用した資源の節約に努めた。				
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●来場者数は、毎回座席（約100席）が埋まり立ち見が出る状態を維持しており、十分に成果が上がっていると思われるものの、会場の規模を考慮すると、これ以上の来場者増は難しいと考えられる。</li> <li>●アンケート結果【満足度】ロビー97%、150回記念95%、大きな花コンサート94%</li> <li>●毎年1回行っている出演者募集では、10回の枠のところ60組の申込み（昨年度から+19）があったことから、この事業が認知され、出演する魅力が高まってきていることが伺える。出演者がより多様に、より良質になることにより、地域の魅力アップに繋がると考えられる。</li> </ul>				<p>達成度</p> <p>3</p>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>平日の昼間のコンサートであるため来場者の固定化が懸念されるが、より多くの区民にゆとりと安らぎを提供するため、広報が届きづらい世代にも周知することを意識し、マンネリ化することがないよう検証・見直しをしながら継続していく。また、より良い形での協働も目指していく。</p>

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	05	事業名	高津区音楽のまち推進事業（子どもの音楽文化体験事業）		
事業所管課	地域振興課			担当者	今井	連絡先	044-861-3134
関係局（局区連携事業は記載）							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	[音楽事業共通] 音楽を通して区民にゆとりとやすらぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。
事業概要	[音楽事業共通]区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力があふれ、愛着が持てるまちづくりを推進することを目的とし、区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 [内容]子どもたちが本物の音楽文化に触れる機会を提供すること。また、これにより音楽文化を生み出す心をはくくむことを目的に次の事業を実施する。(1)身近な場所での音楽体験（こども文化センター等へプロを派遣）、(2)家族単位での音楽鑑賞体験（洗足学園音楽大学等で開催される公演への無料招待）、(3)ホールでの音楽鑑賞体験（オペラ公演の開催）(4)演奏体験ワークショップ（参加者を公募して楽器演奏を指導、区民音楽祭で成果を発表する）

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,466,000	決算額	1,250,704	不用額	215,296
不用の理由	会場使用料の節減等による事業委託料の戻入、ボランティア演奏者の開拓による一部報償費の不用				
事業目標	【音楽事業共通】各事業の集客数を維持向上させること及び来場者アンケートの結果「満足できた」という意見を8割以上得ることを目標とする。参加型音楽イベントの場合は、新たな音楽家や音楽グループの参加が得られることを目標とする。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1)身近な場所での音楽体験：こども文化センター等へプロを派遣 (2)家族単位による音楽鑑賞体験：洗足学園音楽大学等で開催される公演への無料招待 1～2回 (3)ホールでの音楽鑑賞体験：洗足学園音楽大学講師等によるオペラ公演の開催 年1回（2回公演） (4)演奏体験ワークショップ：パーカッション等の演奏体験を行うワークショップ 20名程度公募				
事業目標を達成する上での課題等	[音楽事業共通] ●各種コンサートの内容や広報手段を適宜見直ししながら実施していく必要がある。 ●地域振興課と生涯学習支援課で行っている事業を中心に、一部民間で行っている事業も含め体系化を図り、より効率的で効果的な事業展開を図っていく必要がある。 ●入場料収入(受益者負担)を導入するにあたり、地方自治法により収納事務を委託することができ職員が徴収しなければならないが、夜間や休日の対応も求められるため、人件費等のコストを考慮すると費用対効果が低い。実施手法の早急な整備が求められている。 ●地域団体主催などの行政が主催・共催・後援をしていない音楽イベントの情報発信や、各団体・イベントの連携などに対する支援を行うことが求められている。				
実績	委託先：子どもの音楽文化体験事業実行委員会 ●オペラ公演「泣いた赤鬼」（9月7日(土)11時半332名、14時266名） ●こども文化センターコンサート 高津（8月29日(木)81名）、東高津（10月28日(月)66名）、子母口（11月13日(水)58名）、上作延（12月4日(水)69名）、末長（12月18日(水)99名）、梶ヶ谷（2月12日(水)64名）、二子（2月24日(月)42名） ●洗足学園公演招待「ぐりとぐら」（11月15日(金)241名） ●演奏体験ワークショップ 11月から3回の練習を経て12月15日(土)区民音楽祭にて発表、19名参加				
協働の視点	企画・運営を音楽関係者・こども文化センター館長・子育て世代区民等で構成されている実行委員会に委託し、協働により実施している。				
環境配慮への視点	チラシやプログラム印刷にあたっては再生紙を使用するとともに、常に必要枚数を精査し、資源の節約に努めた。				
取組の成果	●オペラ公演では客層を考慮して、従来の往復はがきに加えホームページからも応募可能としたことにより、昨年より応募者数・入場者数が増えた。また、アンケートでは回答者の88%から「満足」の回答を得た。 ●公演招待ではホームページ等に加え、こども支援室のイベント等でも告知を実施し、昨年を上回る応募があったと同時に子育て世代の転入者に音楽事業の告知も実施できた。 ●こども文化センターへの演奏者派遣は新規の演奏者を開拓し、例年と異なる内容のコンサートを提供できた。また、いこいの家など周辺施設でも事前告知を行い、高齢者等にも鑑賞機会を提供できた。 ●演奏体験ワークショップは、校長会を通じた小学校へのチラシ配布を新規に実施したこと等により応募者が定員の倍以上に増えた。参加者アンケートでも回答者の100%が満足と回答している。また、区民音楽祭来場者アンケートでも「印象に残った」という回答を最も多く得るなど、発表でも好評を博した。				達成度

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	●演奏体験ワークショップについては、参加者の学年に合わせたプログラムを組む等、より満足度の高い企画となるよう内容を見直しして継続する。 ●その他の企画については、今年度の反省点を踏まえて実施手法を見直しつつ、継続して実施する。特にイベントの事前告知にあたっては、今年から実施し効果のあった校長会を通じた小学校へのチラシ配布を活用し、イベントの集客増と事業認知の拡大を図る。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	05	事業名	高津区音楽のまち推進事業（高津区民音楽祭）		
事業所管課	地域振興課			担当者	涌	連絡先	044-861-3134
関係局（局区連携事業は記載）							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	[音楽事業共通] 音楽を通して区民にゆとりとやすらぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。
事業概要	[音楽事業共通] 区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力があふれ、愛着が持てるまちづくりを推進することを目的とし、区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 [内容] 音楽に造りの深い地域団体と市民が協力して企画運営を行い、参加する市民音楽グループが企画や準備に携わる参加型の音楽イベントを中心とした音楽祭を開催する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,248,100	決算額	1,040,677	不用額	207,423
不用の理由	ゲスト出演料の減による				
事業目標	【音楽事業共通】各事業の集客数を維持向上させること及び来場者アンケートの結果「満足できた」という意見を8割以上得ることを目標とする。参加型音楽イベントの場合は、新たな音楽家や音楽グループの参加が得られることを目標とする。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	音楽に造りの深い地域団体と市民が協力して企画運営を行い、参加する市民音楽グループが企画や準備に携わる参加型の音楽イベントを中心とした高津区民音楽祭を開催する。				
事業目標を達成する上での課題等	[音楽事業共通] ●各種コンサートの内容や広報手段を適宜見直しながら実施していく必要がある。 ●地域振興課と生涯学習支援課で行っている事業を中心に、一部民間で行っている事業も含め体系化を図り、より効率的で効果的な事業展開を図っていく必要がある。 ●入場料収入(受益者負担)を導入するにあたり、地方自治法により収納事務を委託することができず職員が徴収しなければならないが、夜間や休日の対応も求められるため、人件費等のコストを考慮すると費用対効果が低い。実施手法の早急な整備が求められている。 ●地域団体主催などの行政が主催・共催・後援をしていない音楽イベントの情報発信や、各団体・イベントの連携などに対する支援を行なうことが求められている。				
実績	委託先：高津区民音楽祭運営委員会 会場①：川崎市民プラザ屋内広場 11/23(土)14:30~18:00 晴れ ●参加グループ 6 ●ゲスト 1 ●来場者 約300名 会場②：高津市民館大ホール 12/14(土)13:30~17:00 晴れ ●参加グループ 9 ●ゲスト 1 ●コラボ企画 1グループ ●来場者 約800名 12/15(日)13:00~17:00 晴れ ●参加グループ 13 ●ゲスト 1 ●来場者 約800名				
協働の視点	企画・運営を、区内で音楽事業を展開・支援する団体の構成員等で構成される運営委員会に委託し、協働により実施している。協働の視点を常に意識した事業運営を行っているが、委員の不足等により役割分担が区役所に偏ってしまうため、増員や方法の見直しなどを行っている。				
環境配慮への視点	再生紙や裏紙を使用した資源の節約に努めた。				
取組の成果	●来場者数合計 前年比+20名 ●アンケート結果 [満足度] 1日目85%、2日目75%、3日目87% ●新規参加 12グループ				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	区内最大の参加型音楽事業であることから、より良い事業となることが望まれる。参加要件である参加者ミーティングを土曜に開催したことにより多くの新規参加グループを獲得できた。また、開催時期や時間帯を変更したことにより、多くの参加グループが演奏することができ、参加者及び来場者の集客効果が得られた。26年度は、さらに多様なジャンルのグループの参加ができるように広報の方法を検討していく。また、より多くの区民が観に行きたいと思うような事業になるよう、開催・変更結果の検証を行いながら改善していく。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区音楽のまち推進事業 (246クラシックコンサートin高津)		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	小嶋	連絡先	044-814-7603
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	【音楽事業共通】 音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る。また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに合ったコンサートを開催していく。
事業概要	【音楽事業共通】 区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力があふれ、愛着が持てるまちづくりを推進することを目的とし、区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】高津区親と子のコンサート、246クラシックコンサートin高津、サロンDEコンサート・ホールDEコンサート、橋ファミリーコンサートを開催する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	440,000	決算額	434,871	不用額	5,129
不用の理由	当日ボランティアスタッフ分の報償費及び消耗品費が見込みより少なかったため				
事業目標	「音楽のまち・かわさき」を推進するために、地域の人材・資源の活用を図ることにより、音楽を通してのまちづくりを目指す。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	クラシックの名曲を気軽に鑑賞することのできる有料コンサートを1日2回開催する。2時の部は1時間のミニコンサートで、4時半の部は管弦合奏団を中心に、1時間40分の重厚なコンサートを開催する。				
事業目標を達成する上での課題等	無料のコンサートがある中、有料の246クラシックコンサートin高津の集客を確保する。楽曲編成を常に新しいものにし、観客に新鮮な音楽を届ける。				
実績	【委託先】246クラシックコンサートin高津 実行委員会 日時：2月1日(土) 2時～ ①2時～3時 ②4時半～6時10分 場所：高津市民館大ホール 天候：晴れ 入場者数：①144人 ②386人				
協働の視点	この事業を実施するために、市民などにより組織された実行委員会と企画、運営で協働して行った。				
環境配慮への視点	再生紙や裏紙の活用などに配慮した。				
取組の成果	平成24年度の入場者数の合計は486人であったが、平成25年度は530人となった。収入については、平成24年度は416,600円であったが、平成25年度は、555,700円となった。多様で良質なクラシック音楽を提供し、大変好評を得ることができた。				達成度 <b>3</b>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	入場者数及び収入が順調に増加していることから、翌年度もクラシックコンサートを開催するが、名称をウインターコンサートとし、回数についても1回とし、重厚な内容で開催する。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区音楽のまち推進事業 (サロンDEコンサート・ホールDEコンサート)		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	新井	連絡先	044-814-7603
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	【音楽事業共通】 音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る。また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに合ったコンサートを開催していく。
事業概要	【音楽事業共通】 区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力があふれ、愛着が持てるまちづくりを推進することを目的とし、区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】高津区親と子のコンサート、246クラシックコンサートin高津、サロンDEコンサート・ホールDEコンサート、橋ファミリーコンサートを開催する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	300,000	決算額	299,718	不用額	282
不用の理由	消耗品費の執行額が少なかったため				
事業目標	「音楽のまち・かわさき」を推進するために、地域の人材・資源の活用を図ることにより、音楽を通してのまちづくりを目指す。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	サロンDEコンサート(高津市民館談話コーナーでの月1回のミニコンサート)、ホールDEコンサート(サロンDEコンサート出演者による年1回のジョイントコンサート)、おやこDEコンサート(親子で楽しめる年1回のコンサート)				
事業目標を達成する上での課題等	サロンDEコンサートは高津市民館談話コーナーでの開催のため、ピアノや太鼓が使用できないという限定された条件を克服し、多様な音楽を区民に提供する。おやこDEコンサートは、未就学児対象のため飽きさせない楽しい内容とする必要がある。				
実績	【委託先】サロンDEコンサート・ホールDEコンサート実行委員会 (1) サロンDEコンサート 6月から高津市民館談話コーナーで月1回第3日曜日に開催し、毎回概ね50人～80人の参加者があった。 (2) おやこDEコンサート 日時: 2月16日(日) 13時～14時15分 場所: 高津市民館大会議室 参加者: 200人 (3) ホールDEコンサート 日時: 3月9日(日) 13時30分～15時30分 場所: 高津市民館大ホール 参加者: 330人				
協働の視点	この事業を実施するために、市民などにより組織された実行委員会と企画、運営面で協働して行った。				
環境配慮への視点	再生紙や裏紙の活用などに配慮した。				
取組の成果	サロンDEコンサートは多様な音楽を区民に提供できた。ほぼ毎回定員50名を上回る参加を得ることができた。また、地域の音楽家に発表の場を提供することができた。おやこDEコンサートは出演グループを昨年の3組から2組に減らし、時間を短くしたことから、未就学児が比較的落ち着いて音楽を楽しむことができた。ホールDEコンサートについても、多様なジャンルの音楽を聞くことのできるホールコンサートとして好評を得た。全体として、地域の人的資源を活かし、音楽を通してのまちづくりを進めることができた。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	アクセスのよい会場で気軽に多様な音楽を楽しめる場として地域に定着していることから、サロンDEコンサートとホールDEコンサートは翌年度も現状どおり継続する。おやこDEコンサートについては、高津区親と子のコンサートと統合し、子どもの育ちにあわせて対象年齢を細分化し、回数を3回以上に増やして実施する。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区音楽のまち推進事業 (高津区親と子のコンサート)		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	鈴木	連絡先	044-814-7603
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	【音楽事業共通】 音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る。また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに合ったコンサートを開催していく。
事業概要	【音楽事業共通】 区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力があふれ、愛着が持てるまちづくりを推進することを目的とし、区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】高津区親と子のコンサート、246クラシックコンサートin高津、サロンDEコンサート・ホールDEコンサート、橋ファミリーコンサートを開催する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	240,000	決算額	240,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	「音楽のまち・かわさき」を推進するために、地域の人材・資源の活用を図ることにより、音楽を通してのまちづくりをめざす。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	親と子が一緒に歌い、踊ることの出来る参加型コンサートを実施する。 0歳～3歳の乳幼児に対象を特化したコンサートを実施する。				
事業目標を達成する上での課題等	子どもたちが飽きずに最後まで楽しく参加できるプログラム構成を行う。特に0歳～3歳児を対象としたコンサートは、選曲だけでなく、会場の雰囲気づくりから工夫が必要となる。				
実績	<p>【委託先】「なかよしコンサート」実行委員会</p> <p>(1) なかよしコンサート 日時：9月7日(土) ①11時30分～12時20分 ②13時30分～14時20分 場所：高津市民館大会議室 天候：晴れ 入場者数：①278人 ②289人</p> <p>(2) エレクトーンとピアノが奏でる音楽のおもちゃ箱 日時：10月19日(土) 11時～12時 場所：高津市民館大会議室 天候：晴れ 入場者数：205人</p> <p>(3) 森のクリスマスおんがく会 日時：12月10日(火) 10時半～11時半 場所：高津市民館大会議室 天候：雨 入場者数：185人</p>				
協働の視点	この事業を実施するために、市民などにより組織された実行委員会と企画、運営を協働して行った。				
環境配慮への視点	再生紙や裏紙の活用などに配慮した。				
取組の成果	事前に配布した入場整理券が数日で配布を完了した。子どもたちが一緒に歌ったり、踊ったりしながら、出演者とともに会場が一体となって音楽に親しむことができた。0歳～3歳児を対象を特化したコンサートについては、子どもの育ちにあわせて、対象年齢をさらに細分化する必要性が明らかになった。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>「なかよしコンサート」は、市民自主事業等での実施を含めると、8年間継続したこと、また例年同様の内容で実施し、主要な出演者もほぼ同じであることから、翌年度は「高津区親と子のコンサート」を「おやこDEコンサート」に統合し実施する。「おやこDEコンサート」の回数を増やし、対象年齢を細分化してよりニーズに対応した内容で実施する。</p>

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	05	事業名	高津区音楽のまち推進事業 (プラザ橋みんなで楽しむ音楽事業)	
事業所管課	生涯学習支援課橋地区担当(プラザ橋)		担当者	関野	連絡先	044-788-1531
関係局(局区連携事業は記載)						

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	【音楽事業共通】 音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る。また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに合ったコンサートを開催していく。
事業概要	【音楽事業共通】 区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力があふれ、愛着が持てるまちづくりを推進することを目的とし、区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】ファミリーコンサート、高津区親と子のコンサート、246クラシックコンサートin高津、サロンDEコンサート・ホールDEコンサート、橋ファミリーコンサートを開催する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	270,000	決算額	270,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	「音楽のまち・かわさき」を推進するために、地域の人材・資源の活用を図ることにより、音楽を通してのまちづくりを目指す。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	様々な世代が参加できるコンサートを年3回開催する。実施に当たっては、鑑賞するだけでなく、一緒に歌う、パフォーマンスする、楽器に触れるなど、参加型・体験型の企画に配慮する。また、コンサートに加え、主にシニア世代が気軽に参加し、一緒に歌を歌い、音楽を通して交流する「おはよう！歌の広場」を、年10回定期的に開催する。				
事業目標を達成する上での課題等	音楽を鑑賞するだけでなく、参加し、体験し、楽しみながら、音楽を通じた仲間づくりやネットワークづくりを進める事業展開が課題である。				
実績	1 たちはなファミリーコンサート ①「花は咲く・東北への想い」 出演:洗足学園音楽大学渡部亨ゼミ学生 8月3日(土) 11:00~12:00、13:30~14:30の2回 合計208人参加 曇り ②「イングリッシュハンドベルによる天使のハーモニー」 出演:サークルねぎぼうず 12月1日(日) 13:30~14:30 116人参加 曇り ③「子どもシニアもまるごと笑顔」 出演:OSMY 3月1日(土) 13:30~14:30 102人参加 晴れ 2 おはよう！歌の広場 歌唱指導 笹子まさえ 4月22日(月)、5月27日(月)、6月24日(月)、7月22日(月)、8月26日(月)、10月28日(月)、11月25日(月)、1月27日(月)、2月24日(月)、3月25日(月) 10:00~11:30 合計838人参加				
協働の視点	実行委員会形式(プラザ橋みんなで楽しむ音楽事業実行委員会)により協働の意義を高めることを目指しているが、出演団体等の選定では、職員主導に傾きがちである。 コンサートについては、小・中学生、高校生のボランティアや会場装飾ボランティアの協力を得ることができた。また、歌の広場では、市民の方に当日の運営に参加してもらい、穏やかな雰囲気醸成に寄与している。				
環境配慮への視点	コンサートでは、靴袋を持参してもらい、ゴミの排出に配慮している。				
取組の成果	コンサートについては、乳幼児から高齢者まで幅広い参加を得て、各回とも、目標値の100人を超える参加があり、アンケートでは、90パーセント以上が「よかった」と回答している。自由記述では、参加型・体験型についての評価が多く見られ、主催者のねらいが受け止められていると思われる。 2年目に入った「おはよう！歌の広場」は、開催回数を増やし、9月・12月を除く第4月曜に開催したが、回を追うごとに参加者が増え、3月には97人の参加があった。平成26年度については100人を超える可能性を視野に、引き続き取組を進める必要がある。				達成度  <b>3</b>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 口見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 口終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 口事業を終了する
	コンサート年3回の開催はこれまで通り行っていく。洗足学園音楽大学渡部ゼミ「演奏会企画演習」は、学生にとっても貴重な機会であることも踏まえて、企画内容を検討しつつ継続する。他の2回はできるだけ地域の音楽団体・音楽家などを招へいしていく。 「おはよう！歌の広場」は、平成25年度の参加状況やニーズを踏まえ、引き続き年間10回実施し(4月・11月を除く第4月曜)、シニア世代の地域交流の場としての更なる定着をめざす。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	10	事業名	高津区子どもフェア事業	
事業所管課	まちづくり推進部地域振興課		担当者	菅谷	連絡先	044-861-3144
関係局(局区連携事業は記載)						

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	子ども達が、普段のくらしの中で地域の自然とふれあいながら遊べる機会を得られないことから、自然とふれあう場を提供することで、非日常的な経験を通じた、親子関係や友人との新たな結びつきを図ることを目的とする。
事業概要	子ども達が、普段のくらしの中で地域の自然とふれあいながら遊べる機会を得られないことから、自然とふれあう場を提供することで、非日常的な経験を通じた、親子関係や友人との新たな結びつきを図ることを目的とする。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	600,000	決算額	600,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	様々な団体の参加による地域交流と青少年健全育成や子育て世代の交流を図るためイベントを協働で行う。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	事業は高津区子ども会連合会を中心に「高津区子どもフェア運営委員会」を設け、事業を実施する。				
事業目標を達成する上での課題等	関係団体との連携・協力体制の構築と区民への周知による新規参加者の開拓				
実績	高津区子どもフェア運営委員会に委託し、8月25日(日)に実施。例年行っている『どろ舟レース』、『ペットボトルいかだづくり』、『うなぎ・ドジョウのつかみ取り』等のほか、多摩川の生態系展示を行った。参加者1,500人。				
協働の視点	高津区子ども会連合会を中心に、地域で活躍する関係各団体から運営委員を募り委員会を構成し、企画・運営全般にわたり主体的に取り組んでいる。				
環境配慮への視点	イベント終了後の廃棄物の分別のほか、今年度より多摩川の生態系展示を行うなど、環境教育の面で充実した内容となった。				
取組の成果	<p>好天にも恵まれ多数の来場者を得ることが出来た。アンケート調査では約8割の方が「楽しかった」(「まあまあ」を含めるとほぼ100%)と回答しており、「来年も参加したい」といった意見が多く見られた。また、運営委員会を構成する団体を中心に青少年育成関係団体の参加があり、子どもを取り巻く大人のネットワークが構築されている。</p>				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	予算規模は同程度とし、内容については運営委員会での検討を経て、地域の需要に応じて必要な改善を図る。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	15	事業名	「たちばな農のあるまちづくり」推進事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	松本 法恒	連絡先	044-861-3133
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	橋地区における地域資源(都市農業、歴史的資源、緑地、各種活動等)を活用した地域活性化を総合的に行うための基本方針である「たちばな農のあるまちづくり」推進方針(平成20年度策定、平成21~30年度の10年間を計画期間とする)を推進する。
事業概要	推進方針を推進するための5つの行動計画を展開実施する。 ●農業者と区民が協働し、食と農の地域資源を発見 ●地産地消と子どもの食育を結び、次世代に伝える。 ●市民パワーによる地域資源の活性化、ネットワークの推進 ●メサ・グランデ事業の展開 ●戦略的広報の実施

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	2,000,000	決算額	1,999,725	不用額	275円
不用の理由	契約差額				
事業目標	●基本方針に沿った事業展開 ①食と農の地域資源を発見する活動の推進 ②地産地消と食育を結び、次世代につなげる活動づくり ③「たちばなブランド」を活かしたまちづくりの推進 ●情報発信の推進				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	●「たちばな農のあるまちづくり」推進会議の開催(年3回)及び部会による個別プロジェクトの計画・実施 ●たちばな地区の魅力を発信するファーマーズマーケット「さんの市」の開催と定着化 ●情報発信拠点の活用				
事業目標を達成する上での課題等	10年計画である「たちばな農のあるまちづくり」推進方針の5年目となり、今後推進会議による自主運営を確立していくために、参加メンバーの増員と定着を図る必要がある。				
実績	委託先：特定非常利活動法人ぐらす・かわさき 「たちばな農のあるまちづくり」推進会議は予定通り開催。援農や写真展等のプロジェクトについては、将来的な推進会議の自立運営に向けて部会を置かず、全体で計画・実施している。「さんの市」(7、10月、12月、1月、3月開催)は毎回200~400人程度の来場者を得て、定着してきた。地域交流拠点機能を持った店舗については、地場野菜の直売や料理の提供と各種講座開催を連携した取組を図っている。				
協働の視点	在住、在勤、在学の区民からなる推進会議を中心に区内市民活動団体の主体的な活動により各プロジェクトやファーマーズマーケット「さんの市」が計画・実施されており、行政及び委託業者は推進会議の運営や各所との連絡調整を行っている。今後は事業に係る将来のあり方を検討しながら、推進会議の自主運営を目指していく。				
環境配慮への視点	各プロジェクトの実施にあたってはリユース品・再生品を使用するように配慮している。				
取組の成果	区内の様々な市民活動団体、生産者、一般住民や学生など、多様な委員で構成される推進会議で活発な意見交換がなされ、「たちばな農のあるまちづくり」推進事業そのものが区民交流・地域交流の場として機能している。「さんの市」への出店や農業体験イベントへの協力において、引き続き橋地区の生産者の協力を得られており、良好な関係を構築している。地域交流拠点機能を持った店舗については、各種講座や地場野菜を使った料理の提供等を積極的に行うことで、情報発信拠点として確立されつつある。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	推進会議の自立的な組織への展開を図るため、持続可能なプロジェクトの検討や新規委員の募集、また市内を中心とした他地域との交流等を実施していく。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	20	事業名	高津区まちづくり推進事業		
事業所管課	地域振興課		担当者	松本 法恒	連絡先	044-861-3133	
関係局(局区連携事業は記載)			高津区まちづくり推進事業費				

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。</li> <li>●「協働型事業のルール」に基づき、地域の課題解決に向けた協働型事業を推進するとともに、区民の主体的な地域のまちづくり活動に係る各種支援策への橋渡しの幅広い支援を行う。また、それらと区事業との連携も見出し、地域の課題解決を推進していく。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくりの推進を図るため、次の事柄を推進する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市民活動支援ルームの運営と登録団体の交流</li> <li>2. 区内の市民活動の情報誌であるキラリたかつニュースの発行、市民活動支援のホームページの運営管理</li> <li>3. 高津学の開催</li> <li>4. 市民活動見本市の開催</li> <li>5. 市民参加型のまちづくり実践活動の推進と地域ごとのまちづくり推進組織の生み育て</li> </ol> </li> </ul>

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	4,737,000	予算額(調整後)	4,742,000	決算額	4,536,663	不用額	205,337
不用の理由	冊子製作が見送りになったことによる委託料(142千円)。(需用費(電気料)が不足したため、「花と緑の推進事業」から5,000円流用)						
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内の市民活動・まちづくり活動の活性化</li> <li>●活動に参加する区民の輪を広げ、参加と協働によるまちづくりの推進</li> <li>●広範なまちづくりの理念を着実に実現に向けていくことを支援</li> </ul>						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	「事業概要」の項目ごとに年間計画をたて、区民主体で企画運営する。市民活動支援ルーム運営(通年) 交流会(10月・2月予定) キラリたかつニュース発行(7月・11月・3月予定) ホームページ運営管理(通年) 高津学開催(5月・6月・7月・9月・10月予定) 市民活動見本市実施(6月)						
事業目標を達成する上での課題等	市民活動全般の中間支援を担う高津区まちづくり協議会の第7期2年目として、昨年度福祉分野から召集した委員の知識、経験を活用した「福祉のまちづくり」活動を計画していく。						
実績	委託先：高津区まちづくり協議会 個別の取組について予定どおり実施した。高津学については、5月、6月、7月、10月、11月12月、1月、3月に計10回開催し、そのうちの4回は今年度からの取組として、「旧平瀬川沿い水路の活用」に向けて調査、草刈、他都市水路状況の視察等を行った。また「福祉のまちづくり」として区内関連施設の視察を行い、さらに障がい者との交流会に取り組み、障がい者とともに進めるまちづくりについて意見を交わした。						
協働の視点	年間計画、個別取組の企画運営等、全般にわたって区民が主体的に関わり、行政は広報・連絡調整の一部を担うなど、適正な役割分担が実施されている。						
環境配慮への視点	各種取組で使用使用する物品については、リユース品、再生品を使用するように配慮している。						
取組の成果	区民の主体的な参加により、事業費の全額を各個別取組の経費に充てており、高い費用対効果を実現している。同時に中間支援及び区民の主体的な活動支援の観点から市民活動団体等を対象とした、まちづくり活動を持続するための運営について学ぶ機会を設けるなどの支援ができた。第7期高津区まちづくり協議会の2年目として、昨年度から取り組んでいる福祉分野での講座の充実、雑草が生い茂っている旧平瀬川沿い水路を活用したまちづくりの検討など、新たな取り組みを含め活動の幅が広がった。						達成度 <b>3</b>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	第8期高津区まちづくり協議会の委員を広く募集し、その方向性についても区民の多様な意見を集約し検討する。また現在進行中のまちづくりに関する課題について、活動をさらに充実させていく。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	25	事業名	高津区総合ガイドマップ作成事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	今井	連絡先	044-861-3134
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	区民が安心して日常生活を送れるよう、区に関する基礎的な情報を身近に得られる環境整備が必要である。
事業概要	区民が、区に関する基礎的な情報を身近に得ることにより安心して日常生活を送れるよう、高津区の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを掲載した総合ガイドマップを作成し、区役所にて転入者全世帯に配布するとともに、区内各公共施設にて希望する区民に配布する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,016,000	予算額(調整後)	778,000	決算額	777,250	不用額	750
不用の理由	見積り合わせによる落札額が予算額を下回ったため。(大山街道ふるさと館イメージアップへ238,000円流用)						
事業目標	区民の意見を取り入れ、より利便性の高いガイドマップを作成する。 また、広告主募集により、予算相当の歳入を確保する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前年度版に対する区民アンケートにより得た区民の意見を、仕様書に反映する。</li> <li>●歳入の安定化を図るため、効果的な広告募集方法の検討を行う。</li> <li>●区役所ホームページへの掲載方法を検討し、仕様書に反映する。</li> </ul>						
事業目標を達成する上での課題等	区民の意見をより一層反映するために、アンケートの適切な実施手法を検討し、サンプル数を増やしていくことが課題である。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区役所等で実施した前年度版に対するアンケート(26通)により得られた区民意見を反映したガイドマップを作成し、1月末に発行した(委託先:株式会社武揚堂)。</li> <li>●広告掲載主を公募し、288,500円の歳入を得た(対予算+48,500円)。</li> </ul>						
協働の視点	アンケート調査により区民の意見を収集し、仕様書に反映させた。						
環境配慮への視点	印刷は、石油系溶剤を含まないインキ又は石油系及び植物系溶剤(油脂)を用いたインキで、且つ芳香族炭化水素類が1%以下の溶剤を用いたインキ(エコマーク商品認定基準に適合又は同等以上のもの)を使用した。						
取組の成果	アンケートで得た区民意見を踏まえた内容の修正・変更を行い、利便性を向上させた。また、例年どおりカラーバリアフリーにも配慮した。広告募集にあたっては、DM送付対象の見直しを行う等の効率化を図るとともに、予定の広告枠数を完売し、安定した歳入を維持できた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	次年度以降も、引き続きホームページ等を通じた区民意見収集を行い、より利便性の高いガイドマップとなるよう掲載内容の見直しを行う。 また、広告掲載による歳入を安定して確保できるよう、効果的かつ効率的な募集方法について検討する。

# 平成24年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	30	事業名	高津区市政情報発信事業		
事業所管課	企画課			担当者	田島	連絡先	044-861-3131
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	多様化する生活様式のなかで、一人でも多くの区民に適切な情報を伝達できるよう配慮する必要がある。
事業概要	(1)高津区の市政情報を広く区民に周知するため、市政だよりなどの紙媒体だけでなく、インターネット等多角的な広報媒体を活用して、効果的な情報発信を行う。 (2)区役所の主な事業や予算などの全体像を示し、地域課題やそれに対する区役所の取組状況についての情報共有を図るため、高津区の事業概要を作成する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	2,918,000	予算額(調整後)	2,304,000	決算額	2,278,500	不用額	25,500
不用の理由	仕様見直しによる委託料の減(二ヶ領用水久地円筒分水修景施設運営事業費へ209,000円流用、地域防災力向上事業費へ405,000円流用)						
事業目標	(1)ホームページについては、引き続き課題抽出及びメンテナンスを行う。 (2)事業概要の概要版を作成し、平成26年度の区予算の概要や主な年間のイベント等を周知する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1)ホームページについては、全市的な運用について、シティセールス広報室をはじめ、関係部局と調整を進める。 (2)「エコシティたかつ」等CMS外コンテンツについて、更新作業を業者に委託して行う。 (3)平成26年度の地域課題対応事業予算概要と区のイベントカレンダーをまとめた事業概要の概要版を作成する。						
事業目標を達成する上での課題等	(1)引き続き市全体のホームページ改修後運用について、局内・関係部局と検討を重ねる必要がある。 (2)事業概要について掲載内容の変更事項の有無を細かく確認する必要がある。						
実績	【委託先】NPO法人鶴見川流域ネットワーク (1)情報を多角的に発信していくという意味において、市政だより・ホームページ・事業概要・ケーブルTV・モニター広告の活用等、複数の媒体による情報発信を実施した。 (2)ホームページについては、「エコシティたかつ」ホームページの更新を行い、高津区トップページアクセス数等のデータを分析し利用しやすいレイアウトに変更するとともに、区内の名所や事業PR用のバナーを作成する等、メンテナンスに努めた。 【委託先】有限会社tt-unit (1)事業概要について、予算等の更新部分のみの情報を集約した概要版を作成した。						
協働の視点	直接的な協働による事業ではないが、ホームページのトップに市民団体に関するホームページへのリンクバナーを貼った。						
環境配慮への視点	(1)事業概要では、区の主要施策として「エコシティたかつ」推進事業を紹介し、区役所の全事務事業において環境に配慮した取組を進めていることを発信した。 (2)市政情報を発信する様々な場面においては、ホームページなどの電子媒体も積極的に使用することで、省資源化を推進した。						
取組の成果	(1)市政だより・ホームページ・事業概要・ケーブルTV・モニター広告など、複数の媒体を活用した多角的な情報発信を実施した。 (2)ホームページについて関係部局と調整を行いながら、全市的な改修作業を進めることができた。CMS外コンテンツの更新についても編集作業を業者に委託することで効率よく進めることができた。						達成度  3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	(1)引き続きホームページの新着情報等を活用した情報発信を行うとともに、古い情報が残らないようメンテナンスを行っていく。また「エコシティたかつ」ホームページ等CMS外コンテンツの編集等、専門的な技術が必要な部分は業者に委託し実施していく。 (2)事業概要の作成については、第3期実行計画が終了することに伴い、概要版の作成を含め終了する。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	35	事業名	二ヶ領用水久地円筒分水修景施設管理運営事業		
事業所管課	企画課			担当者	松尾	連絡先	044-861-3131
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	(1)修景施設として整備した部分について、軽易な清掃や点検を行い良好な状態を保つ。 (2)定期的な剪定や害虫防除、草刈等を行い、植栽等の適切な管理を行う。 (3)市民と協働の取組みとして、美化清掃活動や広場の利用のルールづくりを行うことにより、地域コミュニティの場としてさらに活用し、地域の魅力づくりを進めていく。
事業概要	(1)軽易な清掃や植栽の手入れ、日常的な点検等を実施する地元の住民を中心として組織された管理運営組織(久地円筒分水サポートクラブ)の活動を支援する。 (2)市民の安全かつ快適な広場の利用を進めるため、植栽の剪定など適切な維持管理を実施する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	602,000	予算額	811,000	決算額	803,696	不用額	7,304
不用の理由	契約差金(高津区政情報発信事業より209,000円流用)						
事業目標	平成21年度までに整備を行ない、平成23年1月には第1回全国円筒分水サミットが開催されるなど、注目を集めている二ヶ領用水久地円筒分水とその周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として良好な状態に保つことを目標とする。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	月1回1時間程度、管理運営組織が主体となり美化清掃活動を行う。その他、維持管理について管理運営組織と協働で推進していく。						
事業目標を達成する上での課題等	管理運営組織の主体性・自主性をより伸ばして行くことが今後の課題である。継続的な取り組みとするため新メンバーの確保が必要(広報活動等)。						
実績	(1)久地円筒分水サポートクラブによる清掃活動 ①毎月第4月曜日10時~1時間程度(平成25年度は計15回実施) 夏季(6~9月)は、活動回数を増加(各月1回) ②花と緑の交流会出展(平成26年1月実施) ③会員22名(平成26年3月1日現在) (2)久地円筒分水樹木保護・樹勢回復・選定委託(～平成26年3月)【委託先】庭乃持田園(有)・(有)三田植木						
協働の視点	久地円筒分水サポートクラブの清掃後の打ち合わせやリーダー会などで、活動内容やメンバー募集の取組みについて綿密な意見交換を行った。						
環境配慮への視点	大学生ボランティアを受け入れ、地域における環境保全の大切さを周知した。						
取組の成果	(1)維持管理業務全体を業者委託するのではなく、区民が担うことができる清掃活動などを区民協働で実施することで効率的・効果的に事業を推進することができた。 (2)久地円筒分水サポートクラブが実施する美化清掃活動には、毎回10名以上の参加があり、地元の人たちが清掃活動を実施する姿は、良好な環境の維持保全に向けた普及啓発にもつながっている。夏季(6~9月)には、毎月1回活動を増やし、時期にあわせて柔軟に活動回数を調整した。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	引き続き、維持管理業務全体を業者委託するのではなく、区民が担うことができる部分については、区民等で実施することにより、効率的・効果的な事業執行に努める。メンバー確保に向けて交流会等への参加を通して広報活動を継続して支援していく。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	40	事業名	高津区地域課題対応事業外部評価事業		
事業所管課	企画課			担当者	小島	連絡先	044-861-3132
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区地域課題対応事業の執行にあたっては、区役所による内部評価のほか、外部の視点からの評価を行うことにより、事業の透明性を確保するとともに、より区民ニーズを反映し、地域課題の解決につながるよう事業の改善を図りながら、市民協働による取組を促進する必要がある。
事業概要	高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部の視点からの評価を行い、より踏み込んだ事業の改善と評価を通じた市民との協働の促進等を図るため、外部評価委員会による事業評価・改善提案を行う。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,017,000	決算額	1,017,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	(1)外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映した、地域の課題解決につながる事業への踏み込んだ改善を図る。 (2)評価を通じた市民との協働の促進と職員の意識改革、事業の透明性の向上を図る。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	平成25年度高津区地域課題対応事業のうち8事業を対象に事業評価を行う。 高津区防災まちづくり推進事業、高津区地域連携親子スポーツ教室事業、高津区子どもフェア事業 高津区地域資源ネットワーク事業、高津区ふるさとアーカイブ事業、高津区制40周年記念事業 親子運動会開催事業、公園を活用した地域コミュニティ活性化事業				
事業目標を達成する上での課題等	外部評価の結果を、各事業の次年度以降の事業展開に適切に反映させていくことが課題である。				
実績	【委託先】株式会社カイト (1)予定どおり8事業を対象に実施し2事業が「見直し・改善のうえ継続」、1事業が「終了を見越して継続」、4事業が「現状どおり(軽微な改善を含む)」であり、1事業が「事業を終了とする」と評価された。 (2)指摘された事項について各課の対応方針をまとめた「高津区協働推進事業外部評価評価結果及び対応方針表」を、高津区ホームページで公開した。				
協働の視点	外部評価の実施にあたっては、評価項目として「協働の視点」の項目が取り入れられており、対象事業の協働の状況について確認が行われている。				
環境配慮への視点	各事業の外部評価を行うにあたり、「環境配慮の視点」の項目を設定し、対象事業における環境配慮の視点の意識を促進することができた。				
取組の成果	外部評価結果を踏まえ、平成25年度中に対応できる点は改善し、また、平成26年度予算要求でも事業手法の改善を図ることができた。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する			
	平成26年度には、平成25年度高津区地域課題対応事業のうち5事業を対象に外部評価を実施し、事業改善へ繋げていく。 また、平成27年度以降の外部評価の手法について検討する。			

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	50	事業名	高津区文化振興事業		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	鈴木	連絡先	044-814-7603
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区内には、二ヶ領用水・円筒分水や大山街道など、歴史的・文化的資源や、橘地区の農地などの地域資源が豊かにあるものの、転入者が多く、地域文化にふれることの少ない住民も多いことから、地域の歴史や文化について学び、区民のふるさと意識を醸成し、文化都市高津の創造をめざす。
事業概要	地域の歴史や文化、風土を直接体験し、ふるさとである高津のまちを再認識するための探訪講座を実施する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	258,000	決算額	258,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	高津区内の歴史的・文化的資源、および人的資源を活用することにより、地域の魅力を再発見するとともに、区民のふるさと意識を醸成し、文化都市高津の創造をめざす。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	【委託先】特定非営利活動法人 高津区文化協会 ①小型バスで巡る歴史と文化の香るまち・高津Part I 開催日：5月30日(木) ②小型バスで巡る歴史と文化の香るまち・高津Part II 開催日：10月24日(木)				
事業目標を達成する上での課題等	区内の歴史的・文化的資源を活用し、魅力ある高津区の再発見につながる事業内容の検討および資料の充実が課題である。				
実績	①小型バスで巡る歴史と文化の香るまち・高津Part I 日時：5月30日(木) 10:00~16:00 会場：高津地区(末長庚申塔、しばらの松、平瀬川水難供養塔、円福寺、徒然草歌碑、久地円筒分水、梅屋敷他) 天候：雨 参加者：24人 ②小型バスで巡る歴史と文化の香るまち・高津Part II 日時：10月24日(木) 10:00~16:00 会場：橘地区(東高根森林公園、馬絹公園の史跡、新作池ノ谷遺跡、影向寺、薬師三尊、子母口貝塚他) 天候：雨 参加者：22人				
協働の視点	地域文化の振興に携わる市民を含むNPO法人高津区文化協会と協働して実施した。				
環境配慮への視点	再生紙や裏紙の活用などに配慮した。				
取組の成果	各事業とも定員を上回る参加者を得ることができ、大変好評を得ることができた。高津区民のふるさと意識を喚起することができた。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	翌年度は高津区内の歴史・文化遺産に焦点をあて学習・探訪する内容から、農業・工業・官制などに視点を広げ、より多角的に高津区の発展の歩みを学ぶことのできる内容に見直しを行う。あわせて、高津区のふるさとガイド(仮称)を養成する講座も実施する。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	55	事業名	高津区多文化共生推進事業		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	鈴木・小嶋	連絡先	044-814-7603
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は比較的多くの外国人市民が居住し、様々な異なる文化の交流を通して、国際色豊かなまちづくりが進んでいる。一方、入国または転入により、新たに高津区に居住することになった人など、言葉や生活習慣などの違いのため困難に直面する人々も存在する。グローバル化が進む現在、地域における国際化はこれまで以上に必要である。区民が相互の違いを認め合い、理解しながら共に生きる「多文化共生のまち・高津」の創造を推進していくことが求められている。
事業概要	高津区に暮らす外国人市民等、様々な立場の人々が、主体的に豊かに地域生活が営めるよう支援を行うことを通して、区民間の相互理解を推進し、様々な文化が豊かに息づく多文化共生のまち・高津の実現をめざす。 ①外国人市民とともに学ぶ「防災訓練」 ②外国人市民とともに楽しむ「地域めぐりバスツアー」 ③外国人市民とともに楽しむ「日本文化‘おもちつき’」 ④外国人市民とともに楽しむ「多文化縁日」

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	370,000	決算額	369,823	不用額	177
不用の理由	消耗品支出が予定より少なかったため				
事業目標	地域に居住する外国人市民と身近に交流する機会を提供し、体験の共有を通して相互理解を育み、日常生活のレベルの違いを認め合い、尊重することができる「多文化共生のまち・たかつ」の創造をめざす。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①外国人市民とともに学ぶ「防災訓練」：9月22日(日)開催 緊急時の消防署への連絡方法、AEDの使用法、人口呼吸・心臓マッサージの方法を学ぶ。消火訓練、起震車体験。 ②外国人市民とともに楽しむ「地域めぐりバスツアー」：11月30日(土)開催 高津区と近隣の施設を見学する。各施設の目的と内容を学びながら、参加者同士で交流する。 ③外国人市民とともに楽しむ「日本文化‘おもちつき’」：1月18日(土)開催 おもちつきと獅子舞鑑賞を行う。日本文化を媒介に、参加者同士で交流する。 ④外国人市民とともに楽しむ「多文化縁日」：2月9日(日)開催 日本の夏祭り等で見られる縁日を多文化にアレンジして開催する。				
事業目標を達成する上での課題等	各イベントの内容を外国人市民のニーズを反映しながら組み立てること。イベントを実施するだけでなく、参加者同士が交流できるよう工夫を行う。				
実績	【委託先】高津区多文化共生推進事業実行委員会 ①外国人市民とともに学ぶ「防災訓練」 日時：9月22日(日) 11:30~15:00 会場：高津消防署 参加者：46人(うち外国人市民18人) ②外国人市民とともに楽しむ「地域めぐりバスツアー」 日時：11月30日(土) 9:30~15:00 会場：北部市場、川崎市民プラザ、梶ヶ谷貨物ターミナル駅 参加者：32人(うち外国人市民14人) ③外国人市民とともに楽しむ「日本文化‘おもちつき’」 日時：1月18日(土) 10:00~14:00 会場：川崎市青少年の家 参加者：67人(うち外国人市民18人) ④外国人市民とともに楽しむ「多文化縁日」 日時：2月9日(日) 10:00~13:00 会場：高津市民館料理室、体育室、第4会議室 参加者57人(うち外国人市民20人)				
協働の視点	この事業を実施するために結成された市民による高津区多文化共生推進事業実行委員会と協働で企画および運営を行った。				
環境配慮への視点	再生紙や裏紙の活用などに配慮した。				
取組の成果	各事業ともに外国人市民を含む多くの区民の参加を得ることができた。比較的継続して参加する人が多く、家族での参加も多かった。特に「おもちつき」については、運営する側も地域の様々な団体や個人に協力を呼びかけることにより、多文化体験を広く共有することができた。				達成度 <b>3</b>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	翌年度は、各イベント内容をニーズをふまえてさらに検討し、充実させて実施するとともに、夏休みや冬休み期間を利用して、外国につながるのある小・中学生のための日本語支援を実施する。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	60	事業名	大山街道周辺整備活性化事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	今井	連絡先	044-861-3134
関係局(局区連携事業は記載)				まちづくり局 景観・まちづくり支援課			

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	●大山街道を核とした具体的な地域活性化策の実施及び歴史的な資源を活かした環境整備を通じ、交流人口を増加させ、商店街やコミュニティを活性化させることが課題である。
事業概要	●大山街道のまちづくりに関心を持つ人が増えるよう、魅力的な空間創造と計画的かつ総合的な地域活性化のための取組みを、高津大山街道及びその周辺に残っている歴史的・文化的な地域資源を保全・活用するため策定した「高津大山街道マスタープラン」に基づき「大山街道アクションフォーラム(以下「AF」と表記)」を中心に進める。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	3,713,000	決算額	2,370,942	不用額	1,342,058
不用の理由	●予算要求時と委託相手先を変更したことにより、事業委託料が予算を下回ったため。 ●悪天候により事業の一部が中止となったため。				
事業目標	●AFの継続的な開催を通じて地域コミュニティの活性化を図るとともに、AFの自立的な運営体制を確立する。 ●大山街道沿道の施設や大山街道が通る他地域など周辺資源との連携により、回遊性ある魅力的なまちづくりを実現する。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	●運営委員会の主導によりAFを継続して開催(年2回程度)し、大山街道ふるさと館の多面的な活用を意識したイベント等を企画・開催する。また、AF新規参加者獲得のため情報発信体制や広報内容の見直しを行う。 ●「二子の渡し」を前年度に引き続き実施する。また、沿道他地域と連携したイベントを企画・実施する。				
事業目標を達成する上での課題等	●大山街道ふるさと館の指定管理者選考等、事業を取りまく環境の変化に対応しつつ、最適かつ効果的な事業推進体制を検討する必要がある。 ●AF発足後3年が経過し参加者が固定化しつつあるため、広報努力等による参加者層の拡大が急務である。				
実績	委託先：大山街道アクションフォーラム運営委員会(会議運営)、特定非営利法人とどろき水辺(二子の渡し体験)、石塚計画デザイン事務所(広報紙作成等) ●AFを3回開催(6月13日(木)22名、11月19日(火)26名、3月6日(木)22名)、その企画等のためのAF運営委員会を8回開催した。また、AFで提案されたアイデアをイベント「大山みちまちウィークエンド」として企画した(2月15日(土)80名来場、16日(日)は降雪により中止)。 ●二子の渡し体験を企画した(10月26日(土)、台風接近のため中止)。				
協働の視点	今年度から地域住民等で構成されるAF運営委員会を委託先とし、区役所の支援のもと区民主体で会議やイベントが企画・実施できた。また、自主的なワークショップ等を行う小グループがAFから派生して活動している。				
環境配慮への視点	会議やイベントではゴミ持ち帰りの呼びかけ及び分別回収を実施した。				
取組の成果	●AF運営委員会に委託先を変更し、告知手法の変更や委員の人脈活用が図られたことにより、学生や地域の飲食店経営者などAFへの新規の協力者を得ることができた。また、地域イベントとの連携を深めるなど、AF活動が発展している。 ●悪天候により実施には至らなかったものの、二子の渡し体験では発着地点において市民団体におけるイベントを新規に企画し、内容の充実が図れた。				達成度  3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する			
	●イベント開催における悪天候時の対応に関して、今年度は中止としたが、次年度においては順延日の設定または天候に応じた開催内容の変更について予め委託先と協議し、悪天候でも一定の事業効果が得られるような方法を検討する。 ●AF運営委員会がより主体的に事業を進められるよう、大山街道ふるさと館の指定管理者との連携促進や、新規委員の獲得等を支援する。			

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	70	事業名	高津区地域資源ネットワーク事業		
事業所管課	企画課			担当者	松尾	連絡先	044-861-3131
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<p>(1)公共サインについては、設置管理者や表示内容等、設置状況を明確に把握するとともに、情報の更新を適切に行っていく必要がある。加えて、公共サインが密集する駅周辺等では、景観上の適応性や情報伝達手段としての効果・効率性の観点から統一的なルールが必要である。</p> <p>(2)溝口駅南口駅前広場の整備と連携し、主要ターミナル駅として地域の魅力を発信する拠点とすることが必要である。</p> <p>(3)高津区の地域資源を活用し、区の魅力を発信していくためには、まちの回遊性を高めるという観点からも、区内の地域資源を案内・誘導する案内板・説明板等の公共サインを体系的に整備していくことが必要である。</p>
事業概要	<p>平成23年度策定した「高津区公共サイン整備指針」に基づき区内の公共サインを順次整備していく。</p> <p>〈整備の内容〉</p> <p>(1)溝口駅周辺及び高津のさんぼみちについて公共サインの整備を進める。</p> <p>(2)高津のさんぼみちについては、市民と協働で設置位置等について検討後整備を進める。</p>

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	5,187,000	予算額(調整後)	4,505,000	決算額	4,504,500	不用額	500
不用の理由	指名競争入札結果による(地域防災力向上事業に682,000流用)						
事業目標	<p>平成25年度は、次の取組みを行う。</p> <p>(1)高津のさんぼみち1コースの道標整備と次年度の整備に向けたワークショップ(1コース)の開催</p> <p>(2)駅周辺部の既存サイン改修</p>						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<p>(1)高津のさんぼみち及び駅周辺部サイン改修のための施工業者を選定し、「高津区公共サイン整備指針」及び昨年度のワークショップの検討結果に基づき道標等の整備を行う。</p> <p>(2)次年度の高津のさんぼみち道標整備にむけて、適切なルートの再設定等について、ワークショップを実施し検討を行う。</p>						
事業目標を達成する上での課題等	高津のさんぼみちの道標整備については、土地所有者、道路管理者との協議、調整と道路占用等の許可の取得が必要である。						
実績	<p>【委託先】株式会社アボック社・株式会社ランドスケープデザイン</p> <p>(1)高津さんぼみち「貝塚と古墳、古代ロマン」ルートについて道標整備を実施</p> <p>(2)駅周辺部2か所について既存サインの改修実施</p> <p>(3)次年度整備に向け、高津のさんぼみち「二子の渡しと風薫る」ルートについてワークショップを実施</p>						
協働の視点	地域資源の活用やガイド活動等に係る市民団体の代表者などを含む検討委員会で議論され策定された高津区公共サイン整備指針に基づき整備を実施した。次年度の整備予定の高津のさんぼみちのコースについては、区民参加のワークショップを開催し、参加者との意見交換を行った。						
環境配慮への視点	「高津区公共サイン整備指針」に基づき景観等に配慮した道標整備を行った。						
取組の成果	市民団体等と議論して策定した「高津区公共サイン整備指針」に基づき、区民参加のワークショップを実施し、参加者の意見を反映したサイン整備が実施できた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>(1)高津区公共サイン整備計画に基づき地域の魅力を発信し、まちの回遊性を高めるため、高津のさんぼみち「二子の渡しと風薫る」ルートについて道標サインの整備とガイドマップの作成を行う。その際は平成24年度に作成したガイドマップ等への市民からの意見を参考にし反映していく。</p> <p>(2)溝口駅南口広場整備にあわせた総合案内サインの検討と既存サインの改修等を進める。</p> <p>(3)平成27年度整備に向け、高津のさんぼみちのうち1ルートについてワークショップを実施する。</p>

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	75	事業名	高津区ふるさとアーカイブ事業		
事業所管課	企画課			担当者	佐藤	連絡先	044-861-3131
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある。それらの散逸する資料を高津区全体の社会的資産と捉え、収集・分析し、各事業において活用できる形で体系的に整理・保存することが必要である。
事業概要	高津のまちに関する資料(写真・刊行物等)の包括的な収集・整理・蓄積・保存・活用のあり方を「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」として体系化し、その仕組みづくりをすることにより、高津区全体の社会的資産としてそれらの資料の活用を図り、ふるさと意識や地域アイデンティティの醸成、地域プランディングを進める。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	4,181,000	決算額	3,983,490	不用額	197,510
不用の理由	契約差金によるもの				
事業目標	デジタルアーカイブ及びWEBサイトを整備し、高津区の写真を継続的に収集保存できる環境づくりをするとともに、収集した写真の活用と本事業のPRを促進する。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトの整備 (2) 古写真を活用したワークショップの開催とスマホアプリへの成果の反映 (3) 平成24年度に発行した区制40周年記念誌の販売				
事業目標を達成する上での課題等	デジタルアーカイブ及びWEBサイトの整備にあたっては、コスト・運用面で後年度負担が過大にならない手法を検討する必要がある。				
実績	(1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトを整備、約3千点の古写真を登録。平成26年2月4日(火)から平成26年度本格運用に向けたテスト公開開始。(委託先:(株)トータルメディア開発研究所) (2) 高津区ふるさとアーカイブワークショップを12月14日(土)に開催。参加者18名 (3) 区制40周年記念誌を区役所売店、区内書店等で販売した。				
協働の視点	高津区ふるさとアーカイブ推進委員会を設置し、区民委員の意見ももとにデジタルアーカイブをはじめとしたアーカイブ事業のあり方や関係機関・団体との情報共有を図っている。				
環境配慮への視点	事務連絡には極力メールを使用し、紙資源の節約を図った。また、デジタルアーカイブでは多摩川やエケ領用水とともに発展した高津区の変遷をひとつのテーマに設定し、それに関わる写真の閲覧が可能となっており、環境意識の啓発にもつながると考えられる。				
取組の成果	本年度のデジタルアーカイブの整備をもって、平成23年度に策定した「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」に位置づけた、短期的な重点プロジェクトが終了となる。これにより、高津区の写真をはじめとした地域資料を収集し、体系的に保存していくための体制が整備できた。また、古写真を活用した事業としてワークショップやスマートフォンアプリの運用も一定程度定着し、アーカイブの活用モデルも形成することができた。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	今後はデジタルアーカイブを安定的に運用することにより、写真資料をはじめとした高津区の写真資料を継続的に収集・保存し、市制100周年等の新たな節目に向けてアーカイブの充実を図っていく。また、ワークショップについても、対象地域を変えて実施することにより、資料の活用・収集を促進し、収集⇄活用のサイクルを定着させていく。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	86	事業名	大山街道ふるさと館イメージアップ事業		
事業所管課	総務課			担当者	四柳	連絡先	044-861-3121
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	鉄筋コンクリートをベースとするモダンデザインの当施設であるが、開館から20年経過し、「エントランス周辺の判りにくさ」や「暗いイメージ」等が市民から指摘されている。
事業概要	大山街道の街並みのなかでの視認性を高め、世代を超えて人々の心をキャッチする現代的で明るく楽しい雰囲気を整備することで、これらの状況を改善し、「多くの来館者を誘う」「入りやすい・開かれたイメージ」を実現する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	0	流用額	5,565,000	決算額	5,565,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	大山街道ふるさと館のイメージアップを図る。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	イメージアップのためのデザイン提案と、その提案に基づく作業等を業者に委託する。						
事業目標を達成する上での課題等	当施設のデザインやイメージを損なわないまま、予算内でイメージアップを実現するため委託業者と綿密な調整が必要となる。						
実績	【委託先：富永謙+フォルムシステム設計研究所】 委託先である研究所による市民意見を踏まえた提案のもと、大型袖看板の設置、スロープ突当り部分に館内案内サイン、正面玄関横ピロティに写真パネル等を設置した。						
協働の視点	デザインのイメージ作成の検討にあたって、過去の大山街道アクションフォーラム等で話された内容を積極的に取り入れた。						
環境配慮への視点	袖看板については省エネルギーで照度が高い、LEDを採用。						
取組の成果	施設の上部に袖看板を設置したことにより遠いところからでも施設の場所が確認できるようになり、ピロティに設置した大型写真パネルは大山街道を歩行する人たちが見学のために足を止めるようになるなど、施設の実在感のアップ、イメージのアップにつながった。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	本事業は終了するが、パネルに貼り付けた写真についての紹介パンフレット等を作成し利用者に配布する等、本事業の成果物を活かし、大山街道ふるさと館のイメージアップや利用者の増加を図っていく。